

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月6日(日)②

担当部局・担当課名: 地方創生局地方創生・移住交流課

事業名	とやま移住魅力発信・強化事業	評価結果	一部改善
-----	----------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・VRIによる移住体験ツアーより、手厚い補助やサポートのほうが、費用対効果として効果的ではないか。
- ・2020年度から目標数値が変わっていないが、高い目標を持つべき。
- ・訪れている回数と実際移住に結びついたというエビデンスがあればよい。
- ・ある程度ペルソナを定めて、その人たちを誘致するためどのような施策が必要か、また、広告はどのような手法で打つのか、県に何回来た人が定住しているのかなど、データを収集し、それに基づいた施策を打ってほしい

【県民評価者の意見】

- ・移住後のフォローも大切だと思うので、検討してほしい。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 21

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (県の関与不要、県からの補助金廃止)	役割分担 見直し (国が実施)	抜本的改善 (実施内容をゼロから見直し)	一部改善 (現行の進め方は変えず、アプローチ方法の再検討、成果の分析)	現行どおり ・拡充	
	0	1	1	14	5	
県民評価者の主なコメント	評価結果と 同じ評価	【一部改善】 ・家賃や住居のイメージや働き方についてなど具体的な提案ができればよい。 ・5年後、10年後の定住率が気になる。 ・ターゲットが広すぎてうまく絞り込めず、実際移住までにつなげることができていないと感じた。 ・セミナー参加者以外の移住者に対してのフォローも必要ではないか。 ・VRIにあまり期待しないほうがよいのでは。				
	上記以外	【役割分担見直し】 ・国が実施すべき。各県奪い合いになっている。視点を変え、中央官庁の地方移転の取組強化等考えられないか。 【抜本的改善】 ・移住者強化(入口)も大事であるが、そこからの定着、フォロー体制、コミュニティ形成も大切。 【現行どおり・拡充】 ・移住促進に取り組む主体は市町村になると思うが、県が具体的なビジョンを示して市町村を取りまとめる必要があると思う。				

【参考】委員による評価

委員総数 4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	1	1	2	0